

## 第1号議案 令和7年度事業報告並びに収支決算（案）の承認について

### 1. 会員総会・理事会・監事会等の開催

#### (1) 会員総会

##### ① 令和7年度通常総会

令和7年6月24日、明治記念館で開催。Web（テレビ会議システムによる出席）及びWeb併用のハイブリッド方式は採用せず会場出席のみとし、下記の全議案を承認・決議した。

- 第1号議案 令和6年度事業報告並びに収支決算（案）の承認について
- 第2号議案 令和7年度事業計画並びに収支予算（案）の承認について
- 第3号議案 役員報酬額の決定について
- 第4号議案 理事並びに監事全員任期満了につき選任について
- 第5号議案 借入金限度額の決定について
- 第6号議案 役員退職慰労金の支給について

##### ② 令和7年度第1回臨時会員総会

令和7年9月29日、書面で開催。理事1名の補欠選任など下記の全議案を承認・決議した。

- 第1号議案 理事の補欠選任について
- 第2号議案 役員報酬の支給について
- 第3号議案 退職慰労金の支給について

#### (2) 理事会

##### ① 令和7年度第1回理事会

令和7年6月5日、全酪連役員会議室とWebの併用により開催。下記議案の協議・承認と報告が行われた。

- 第1号議案 令和6年度事業報告並びに収支決算（案）の承認について
- 第2号議案 中期（5ヶ年）収支計画（案）について
- 第3号議案 借入金限度額の決定について
- 第4号議案 理事並びに監事全員任期満了につき選任について
- 第5号議案 役員退職慰労金の支給について
- 第6号議案 規程類の改正等について

## 第7号議案 債券の購入について

### <報告事項>

- (1) 財産管理・運用の報告について
- (2) 会長、常務理事の職務執行状況について
- (3) 酪農後継者育成事業諮問委員の変更について
- (4) 酪農共済制度の給付原因と生乳事故の発生状況について
- (5) 今後の日程について

## ② 令和7年度第2回理事会

令和7年6月24日、通常総会終了後に開催。下記議案の協議・承認と報告が行われた。

第1号議案 役付役員（会長及び副会長、常務理事）の選任について

第2号議案 令和7年度役員報酬額の決定について

第3号議案 事業推進委員の委嘱について

### <報告事項>

- (1) 役員候補推薦委員の委嘱について
- (2) 酪農共済制度の引受保険会社の最近の経営概況について

## ③ 令和7年度第3回理事会

令和7年9月11日、書面により開催。令和7年9月29日開催の第1回臨時会員総会に提出する下記議案を承認・決議した。

第1号議案 理事の補欠選任について

第2号議案 役員報酬の支給について

第3号議案 退職慰労金の支給について

第4号議案 決議の省略による文書での臨時会員総会の議案について

## ④ 令和7年度第4回理事会

令和7年11月27日、都市センターホテルで開催。令和7年度上半期事業報告並びに収支決算（案）、酪農年金制度第46期決算報告など、下記議案の協議・承認と報告が行われた。

第1号議案 令和7年度上半期事業報告並びに収支決算（案）について

第2号議案 酪農年金制度第46年度

（令和6年7月～令和7年6月）決算報告について

第3号議案 規程類の変更について

第4号議案 副会長の順序について

第5号議案 役員賠償責任保険契約の更新について

<報告事項>

- (1) 財産管理・運用の報告について
- (2) 全国酪農業協同組合連合会との事業協力及び組織運営効率化の状況について
- (3) 役員報酬等審議委員、酪農後継者育成事業諮問委員の委嘱について
- (4) 酪農共済制度第 59 期  
(令和 7 年 11 月～令和 8 年 10 月) の奨励措置について
- (5) 酪農会館 1 階入居者の賃貸契約状況について
- (6) 令和 7 年度地域酪農活性化支援事業の経過報告について
- (7) 今後の日程について

⑤ 令和 7 年度第 5 回理事会

令和 8 年 3 月 26 日、全酪連役員会議室と Web の併用により開催。令和 7 年度事業概況報告並びに収支決算予測（案）、令和 8 年度事業計画並びに収支予算（案）など、下記議案の協議・承認と報告が行われた。

第 1 号議案 事業推進委員の委嘱について

第 2 号議案 令和 7 年度事業概況報告並びに収支決算予測（案）の承認について

第 3 号議案 令和 8 年度事業計画並びに収支予算（案）の承認について

第 4 号議案 令和 8 年度役員報酬並びに役員退職慰労金について

第 5 号議案 酪農共済制度第 58 年度事業報告及び収支報告並びに酪農火災共済制度第 52 年度事業収支報告の承認について

第 6 号議案 令和 8 年度定時会員総会開催について

<報告事項>

- (1) 令和 7 年度並びに令和 8 年度地域酪農活性化支援事業について
- (2) 会長、常務理事の職務執行状況について
- (3) 令和 8 年度の主要行事予定について
- (4) 酪農後継者育成事業諮問委員の委嘱について

(3) 三役会

① 令和 7 年度第 1 回三役会

令和 7 年 6 月 5 日、全国酪農協会役員室で開催。令和 7 年度第 1 回理事会提出議案について協議した。

- ② 令和 7 年度第 2 回三役会  
令和 7 年 6 月 24 日、明治記念館で開催。同日開催の令和 7 年度通常総会提出議案について協議した。
- ③ 令和 7 年度第 3 回三役会  
令和 7 年 11 月 26 日、全国酪農協会役員室で開催。令和 7 年度第 4 回理事会提出議案について協議した。
- ④ 令和 7 年度第 4 回三役会  
令和 8 年 3 月 26 日、全国酪農協会会議室で開催。令和 7 年度第 5 回理事会提出議案について協議した。

#### (4) 監事会

- ① 令和 7 年度第 1 回監事会  
令和 7 年 6 月 5 日、全国酪農協会会議室と Web の併用により開催。下記の事項について監査・承認と協議が行われた。  
<監査事項>
  - (1) 令和 6 年度事業報告並びに収支決算（案）の承認について
  - (2) 質疑並びに監査講評<協議事項>
  - (1) 令和 7 年度監事報酬額について
- ② 令和 7 年度第 2 回監事会  
令和 7 年 11 月 26 日、全国酪農協会会議室で開催。下記の事項について監査・承認が行われた。  
<監査事項>
  - (1) 令和 7 年度上半期事業報告並びに収支決算（案）について
  - (2) 質疑並びに監査講評

#### (5) 役員候補推薦委員会

- ① 令和 7 年度第 1 回役員候補推薦委員会  
令和 7 年 5 月 20 日、全国酪農協会会議室と Web の併用により開催。任期満了に伴う役員改選のための理事並びに監事候補者の

推薦について協議した。

② 令和 7 年度第 2 回役員候補推薦委員会

令和 7 年 8 月 26 日、書面により開催。理事 1 名の補欠選任に伴う候補者の推薦について承認した。

**(6) 事業推進委員会**

令和 7 年度は令和 8 年 1 月 28 日、全国酪農協会会議室と Web の併用により開催し、令和 7 年度事業の進捗状況並びに今後の予定、令和 8 年度事業計画の方針（案）等について協議した。

**(7) 役員報酬等審議委員会**

令和 7 年度は令和 8 年 2 月 12 日、全国酪農協会会議室と Web の併用により開催し、令和 8 年度役員報酬額並びに役員退職慰労金について諮問し、答申を受けた。

**(8) 全酪連との事業協力・組織運営効率化協議会**

① 第 6 回事業協力・組織運営効率化協議会

令和 7 年 8 月 28 日、全国酪農協会会議室で開催。双方の 11 月理事会に向けて、協議会のスケジュール確認や取り組み実績、今後の取り組みについて協議・確認した。

② 第 7 回事業協力・組織運営効率化協議会

令和 7 年 10 月 29 日、全国酪農協会会議室で開催。双方の 11 月理事会で報告するため、(1) これまでの取り組み実績と効果 (2) 今後の取り組み内容—の 2 点を取りまとめた。主な取り組み実績は研修会や会議等の共同開催、全共ブースの共同出展など。今後の取り組み内容については業務合理化や職員の研修・教育環境の共通化などを報告した。

## 2. 農政活動

本会の農政活動は、酪政連並びに全酪連、日本ホルスタイン登録協会と一体となり、事業計画や酪政連の運動方針に従い、我が国酪農の危機打開と持続的発展のために政府・国会に要請活動を展開した。

## 3. 指導事業

### (1) 酪農基本対策委員会

令和7年11月27日、都市センターホテルで全酪連と初めて共同で開催。本会役員や酪農専門組織等の代表者らを対象に、全酪連事務局の協力によりオンライン配信を併用して国内外の酪農情勢のほか、当面する酪農の諸課題をテーマに講演研修を開催。気象キャスターの今井春花氏、農林水産省畜産局牛乳乳製品課の平田裕祐課長補佐を招いた。

### (2) 酪農講演会及び酪農ネットワーク委員会の開催

令和7年度酪農講演会及び酪農ネットワーク委員会は、都府県と北海道の2ヶ所で開催。都府県においては、11月27日開催の酪農基本対策委員会と同日に開催した（講演研修へのオンライン参加）。一方、北海道においては札幌市内で令和8年3月6日に開催する酪農共済推進会議と同日に開催した。

酪農ネットワーク委員会は全国約130名の委員に酪農講演会開催に合わせて出席いただき、本会事業の報告とともに、本会への理解と支援をお願いし、併せて委員相互の情報交換の場とすることを目的に開催している。

### (3) 地域酪農活性化支援事業

地域酪農活性化のための経営管理・飼養管理技術等の研修会及び消費拡大対策活動などを行う会員に助成する。令和7年度は20件の申請があり、承認した事業については、2月に決定通知書を送付、3月26日の理事会に報告した後、助成金を支払った。

- (4) 会員組織の強化に関する活動  
会員団体の運営に関する支援・助言並びに組織の要請による各種講演会の企画等、きめ細やかな対応により組織強化と協調を図った。全酪連との事業連携の一環として研修会を共同開催しており、令和7年度は新たに酪農基本対策委員会を共同開催した。
- (5) 酪農後継者育成事業  
本事業では酪農後継者育成のための本会主催海外酪農視察研修への参加費の助成、酪農の担い手育成を主たる事業として本会と全酪連が発起人となり令和3年8月に設立した全酪アカデミーの運営等を行っている。
- ① 海外酪農視察研修  
会員より推薦のあった酪農後継者及び酪農協の職員等については酪農後継者育成事業諮問委員会での審議の上、参加費の一部を助成した。また、全国酪農青年女性酪農発表大会入賞者への副賞として参加費の一部を助成した。
- ② 全酪アカデミー  
年度当初在籍していた研修生2名が令和8年1月1日をもって鹿児島県霧島市で新規就農を果たした。令和3年8月設立以来4組7名が卒業、新規就農した。研修生募集が課題となっている。
- (6) 牛乳・乳製品の消費拡大の推進  
諸物価高騰、少子化等により牛乳消費がふるわず、消費拡大は業界挙げて喫緊の課題となっている。依然として課題となっている脱脂粉乳の過剰在庫を解消するためJミルクは引き続き在庫低減対策事業を実施しており、本会としても全酪新報において各地の消費拡大活動等を紹介した。
- (7) 研究会等の活動支援  
畜産経営経済研究会の活動等を支援した。

#### 4. 情報提供事業

- ① 情報提供事業の柱である全酪新報紙面にて国内外の酪農情勢を報じた。特に資材価格の動向やコスト増加に苦しむ酪農家に対する政

府・与党等の対策、生乳需給緩和・脱脂粉乳の過剰在庫低減対策、酪農ヘルパー対策、生乳生産動向、生産者乳価交渉、令和 8 年度酪農政策・予算要求などについて重点的に報じた。

また、各地で創意工夫している酪農家の経営実態や経営改善事例など現場に密着した記事などにより、紙面の充実を図った。

なお、購読部数増加を図るべく酪農共済戸別推進の際に全酪新報についても普及・推進活動を行うとともに、新規加入者に見本紙を配布した。

- ② 日本ホルスタイン登録協会との連携により、同協会の特集号を 4 回発行した。
- ③ 令和 5 年度から全酪連との事業連携の一環として特集ページを掲載しており、9 月 20 日号と 3 月 20 日号に掲載した。
- ④ 全酪新報の電子版の提供に向け検討を進めたものの、取引印刷会社の変更により電子化工程を見直さざるを得なくなり、引き続き令和 8 年度の実施を目指すこととした。
- ⑤ 広告連動企画として、酪農団体・企業等の協力を得て掲載した（内容は次頁参照）。

## 令和7年度・広告連動企画

掲載号	広告主	内容
6月10日号	全国酪農業協同組合連合会	第52回全国酪農青年女性酪農発表大会（岡山県岡山市、7月17～18日）開催に向けて11名の発表者を紹介する紙面を企画、主催団体である全国酪農青年女性会議・全酪連より広告の協力を得た。
6月1日号	(一社) 日本ホルスタイン登録協会	令和7年10月25日～26日に開催された第16回全日本ホルスタイン共進会に向けて、大会を盛り上げるべく告知広告を5回掲載した。
7月1日号		
8月1日号		
9月1日号		
10月1日号		
7月20日号	日産合成工業（株）	御殿場第2工場の本格稼働で供給体制の強化を図った人にやさしい次世代工場を取材し、自社製品の広告も併せて掲載した。
7月20日号	(一社) 酪農ヘルパー全国協会	酪農ヘルパー募集広告の掲載。年4回実施した。
9月20日号		
1月20日号		
3月20日号		
9月20日号	リックス（株）	第16回全日本ホルスタイン共進会に出展の企業として、自社製品の広告を掲載した。
9月20日号	全国酪農業協同組合連合会	全酪連特集として、第5回目の9/20号は業務効率化や集約を推進し酪農家を支える組織体制構築の記事を、第6回目の3/20号はシャインコーストファームの記事を、広告とともに掲載。年2回実施した。
3月20日号		
9月20日号	(一社) 中央酪農会議	酪農教育ファーム特集として、ファシリテーターの更新要件緩和の記事の紙面を制作、広告の協力も得た。
10月10日号	第16回全共特集	第16回全日本ホルスタイン共進会（北海道大会）に出展の企業に働きかけ、10社の広告を掲載した。
3月1日号	(公社) 中央畜産会	「畜産物の適正な価格形成に向けて消費者等への理解を図る」内容を畜産関係者（酪農家）へも周知するため広告を掲載した。
3月20日号	日本製紙（株）	今年夏の暑熱対策として「元気森森」（牛の飼料）をPRするため記事と広告のタイアップ掲載した。

## 5. 視察研修事業

- ① 視察先については、全国酪農青年女性酪農発表大会入賞者への副賞とし、主催団体である全国酪農青年女性会議、全酪連とともに助成し派遣してきた経緯があり、両団体との協議を経て「第29回ロイヤル・ウィンターフェア視察とカナダ酪農視察研修6日間」を実施した。参加者は20名。
- ② 酪農共済優待旅行として令和8年1月に「石垣島3日間」を実施した。

## 6. 酪農共済事業

酪農経営は厳しい状況が継続しており、酪農共済の加入・増口といった結果に繋げることが難しい状況が続いている。こうした状況を克服するためふたつの対策を実施した。

打開策のひとつ目として、酪農傷害共済の補償内容の充実を図り魅力度をアップさせた。具体的には、掛金を変更せずに、個人賠償責任保険の補償限度を従前の200万円から1億円に大幅増額した。このことにより、「自転車保険」としても十分な機能を持ち、活用できることとなった。特にお子様や高齢者が多い家庭への訴求度を増すことができた。

ふたつ目は、酪農医療共済に「所得補償特約」を10月1日より新設した。酪農医療共済は、主にケガ・病気で入院した場合の補償であるが、昨今、入院日数が短くなる一方で、自宅療養の期間は分長くなる傾向にある。この変化への対応を企図した補償内容とし、多くのご要望もあった機能。これらの改善点や特約新設の周知を目的として、5月9日に取扱い団体担当者に東京へお集まりいただき、事務研修会を開催した。その結果、酪農傷害共済と所得補償特約の合計で、898口の成果を挙げる事ができた。

第58期の戸別推進実施組合数は、164組合・支所、延べ戸別推進実施日数は206日と、前期と比べると増加してきている。ちなみに、前期の第57期（令和5年11月1日～令和6年10月31日）は、年間で152組合・支所、延べ日数は179日であった。

酪農共済各制度の第58期の新規加入総口数は1,969口、対前年度比142.9%となり、厳しい状況の中で増加することが出来た。種

類別に見ると酪農共済が 286 口、酪農医療共済が 579 口、酪農年金共済が 125 口、酪農子ども共済が 8 口、酪農がん共済が 73 口、酪農傷害共済が 538 口、新設の所得補償特約は 360 口であった。とりわけ、医療共済、傷害共済及び所得補償特約の進展が寄与した。

最後に、取扱団体各位におかれましては、常日頃、酪農共済制度の推進・事務手続きにご支援・ご尽力を賜り、厚く御礼申し上げます。

## 7. 酪農会館事業

総合管理会社である㈱東急コミュニティー・東急ビルメンテナンス㈱と毎月定例会議を開いて緊密に連携し、全ての入居者の業務が円滑に進むよう管理・運営に努めた。令和 6 年に引き続き警視庁原宿警察署に協力いただき、6 月 26 日に防犯講習を開催。不審者侵入時の対応や護身術の手ほどきを受けた。

毎年行っている防火・防災訓練は 9 月 26 日に実施。今回初めて管理会社・点検業者立ち会いのもとで実際に消火ホースを使用した訓練を実施し、放水時の注意点などの説明を受けた。また、消防署の協力を得て AED の実演・体験を行い、有事の際に躊躇なく使用するための方法などを学んだ。

そのほか、①全酪連が敷地内で開催する酪農理解醸成・消費拡大イベントへの協力、②月 1 回の定期的な環境美化作業、③建物の軽微な不具合等への迅速な対応、④警察への犯罪捜査協力など、ビルオーナーとして意識的に取り組んだ。

館内の衛生対策については、従来通り館内各所に手指消毒剤を配置しているほか平日朝の共用部の消毒を継続し、ウイルスによる感染防止に努めている。

なお、11 月末で 1 階のテナントが退去したため、管理会社とともに入居条件を検討しつつ募集したところ、令和 8 年 1 月 1 日より新テナントと好条件で契約締結に至った。

## 8. 出版物

- (1) 2025（令和 7）年度酪農関係制度資金・補助事業・リース事業利用の手引きを 9 月 3 日に刊行、頒布した。また、2026 年版酪農カレ

ンダー、2026 酪農手帳を作成し、会員等に販売し、ホームページ上においても購入案内を行った。

- (2) このほか既刊の「農業・農村政策の光と影」、「牛群検定クイックチェック～早わかり～」、「ウシのきもち、ヒトのきもち～乳牛獣医師の四方山ばなし～」、「続・ウシのきもち、ヒトのきもち～一杯の牛乳に思いめぐらせ～」、絵で見る酪農技術書「続・牛飼いの眼」、青色申告のできる「酪農簡易簿記」について、ホームページでの直販とし、販売に努めた。

## 9. 乳牛共進会等への協賛（賞状・記念品）

会員を中心として申請のあった団体（別表）に協賛した。

## 10. 事務の合理化、強化等

経費精算システムを見直し、ペーパーレス化、省力化に向け対応を進めた。

## 11. 全日本ホルスタイン共進会への協力

令和7年10月25日～26日の2日間、北海道勇払郡安平町で開催された第16回全日本ホルスタイン共進会に協賛・出展し、会場にて本会事業の展示を行った。なお、展示に当たっては全酪連と協調・連携した。